



2019年10月16日 (水)

第59期 (2020年3月期) 第2四半期決算説明会 (2019年4月1日~2019年9月30日)

代表取締役社長
執行役員

最高経営責任者 (CEO)
経営企画部部长 兼 営業管理部部长

保木 潤一
川久保 秀樹

HOGY MEDICAL Co., Ltd.

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

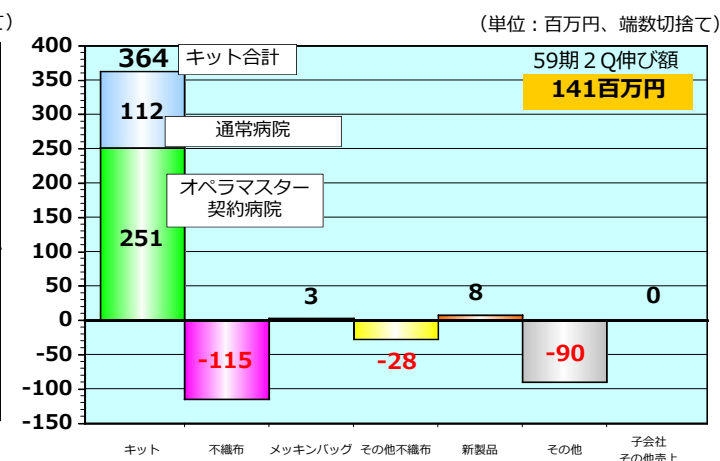
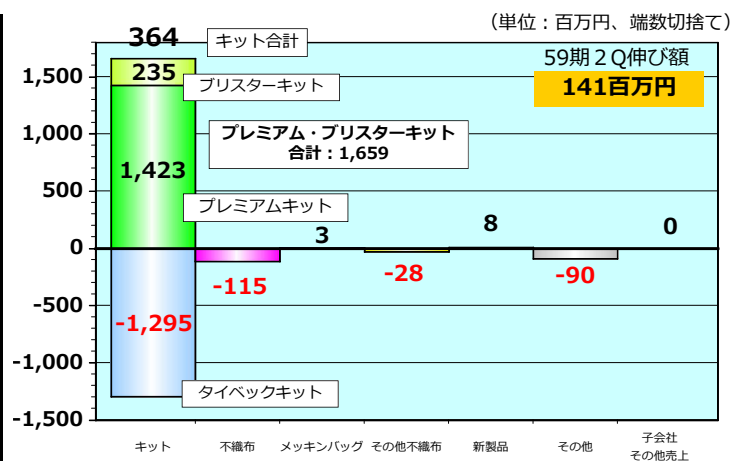
業績の概要



第59期（2020年3月期）第2四半期損益計算書

第59期（2020年3月期）第2四半期 主な製品の売上高伸び額

単位：百万円 切捨て	19.3 58期2Q実績		20.3 59期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,238		18,380		141	100.8%
営業利益	2,440	13.4%	2,596	14.1%	155	106.4%
経常利益	2,480	13.6%	2,724	14.8%	243	109.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,534	24.9%	3,265	17.8%	△1,269	72.0%
E P S	147.41円		108.14円			

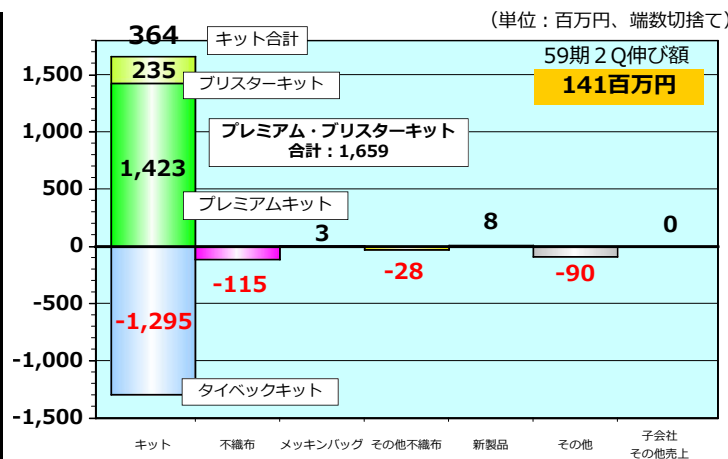


※HOGY Medical Asia Pacific Pte. Ltd.の売上実績は、59期に関しては子会社その他売上に含む。

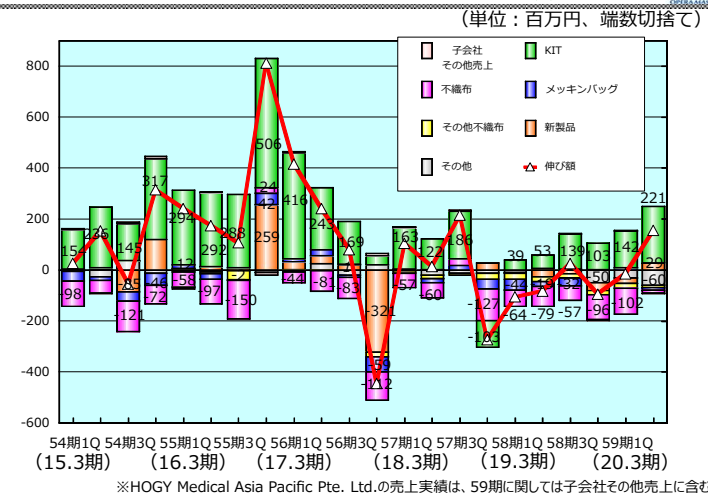
第59期（2020年3月期）第2四半期損益計算書

単位：百万円 切捨て	19.3 58期2Q実績		20.3 59期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,238		18,380		141	100.8%
営業利益	2,440	13.4%	2,596	14.1%	155	106.4%
経常利益	2,480	13.6%	2,724	14.8%	243	109.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,534	24.9%	3,265	17.8%	△1,269	72.0%
E P S	147.41円		108.14円			

第59期（2020年3月期）第2四半期
主な製品の売上高伸び額



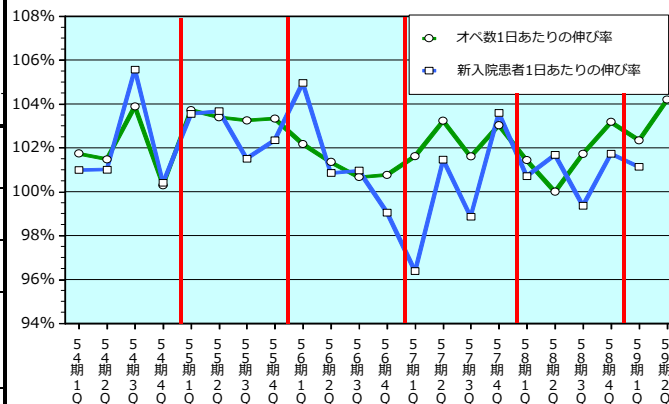
第59期（2020年3月期）
四半期別売上高伸び額の内訳



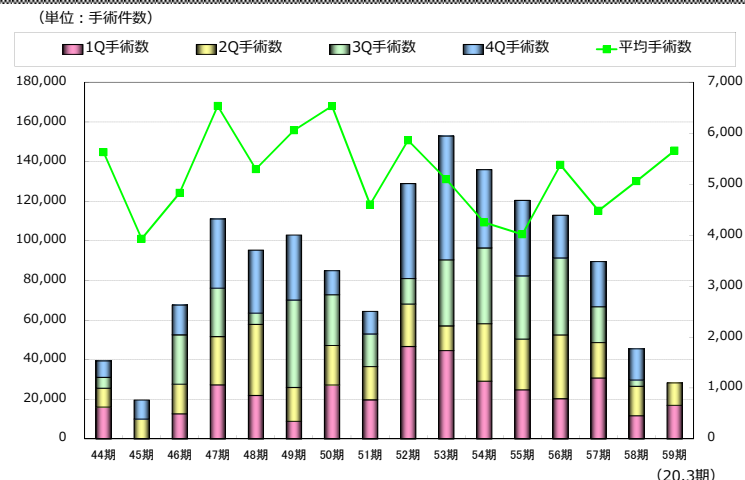
第59期（2020年3月期）第2四半期損益計算書

単位：百万円 切捨て	19.3 58期2Q実績		20.3 59期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,238		18,380		141	100.8%
営業利益	2,440	13.4%	2,596	14.1%	155	106.4%
経常利益	2,480	13.6%	2,724	14.8%	243	109.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,534	24.9%	3,265	17.8%	△1,269	72.0%
E P S	147.41円		108.14円			

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と
新入院患者の伸び率/日



オペラマスター契約病院の手術件数推移





7 第59期（2020年3月期）第2四半期損益計算書

第59期（2020年3月期）第2四半期ポイント

単位：百万円 切捨て	19.3 58期2Q実績		20.3 59期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,238		18,380		141	100.8%
営業利益	2,440	13.4%	2,596	14.1%	155	106.4%
経常利益	2,480	13.6%	2,724	14.8%	243	109.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,534	24.9%	3,265	17.8%	△1,269	72.0%
E P S	147.41円		108.14円			

■ **増収減益**

■ **医療機関における「働き方改革」提案の強化**

- ✓ 2000病院に対してプレミアムキットを活用した「働き方改革」の提案を実施

■ **プレミアムキットによる直前展開で出来る安全性向上の提案**

- ✓ 整形の術式を中心とした安全性向上の提案
- ✓ プレミアムキット導入による効果を体感いただく

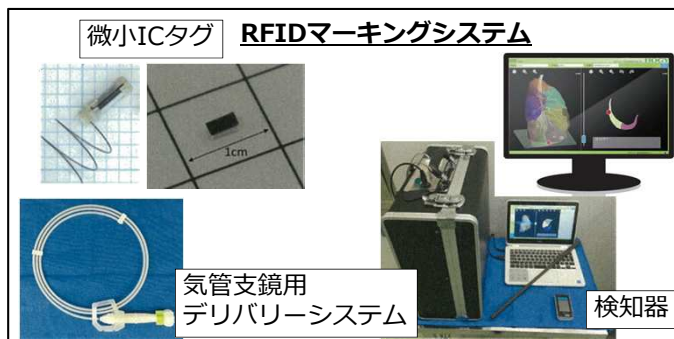
■ **プレミアム・プリスターキット売上高の成長**

- ✓ 59期2Q累計売上高 4,938百万円（前年比：+1,659百万円）
- ✓ 59期2Q累計手術用キット製品販売構成比
販売額構成比 1Q:43.1%, 2Q:45.3%, 2Q累計:44.2%
販売数量構成比 1Q:28.4%, 2Q:30.2%, 2Q累計:29.3%

■ オペラマスターは新規契約数が5施設、解約が5施設

- 既製品を中心に消費税による特需が若干発生
- 新工場稼働：現在週5日の稼働（2交代）
- 新工場の償却費が減少
- R-SUDの許認可申請に向けた取り組みを継続
- ASEANで不織布製品・セクレアを販売
- 肺がん手術における、「SuReFInd」のヒトへの世界初の臨床使用に関する記者会見を2019年10月15日に京都大学と開催
- 9月26日付で厚労省が再編統合協議を必要とする公的病院のリストを公表

シュアファインドとは：肺切除手術において微小肺がんを
より確実に切除することをサポートする
ことを目的に開発した機器



がんの治療の基本：全身に広がらないよう小さなうちに治療する
最近の傾向：診断機器の高性能化と普及、検査頻度UPにより
微小肺がんの発見が増加

→**肺がん手術はより小さく切除する方向へ**

課題とニーズ：「小さく切除したい、でも確実に切除もしたい」
という肺切除術独特の難しさがある

→**病変の位置、切除すべき範囲と深さのランドマークを頼りに、
出来る限り小さく、確実に切除したい**



シュアファインドで肺がん治療の課題とニーズを解決

■ 京都大学附属病院にて2019年9月27日より
臨床を開始

■ 「RFIDマイクロチップを用いた肺癌手術・
世界初の臨床試用」のリリースを10月15日
に発表

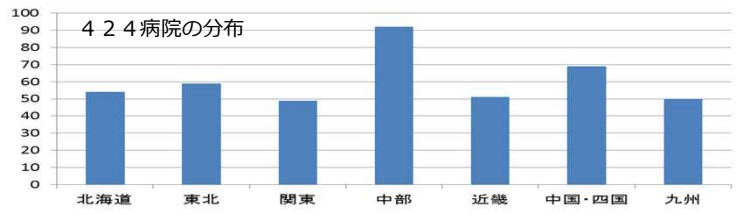
2019年10月末 発売

第59期（2020年3月期）経営計画

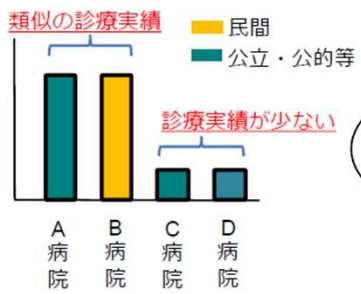
病院再編の動き（厚労省が再編の動きを加速させるために、再編統合協議を必要とする公的病院のリストを公表）

■病床数が過剰となっている状態を改善するため、25年度目標で「地域医療構想」を推進しているものの、急性期病床の削減率は公立病院全体で計画の5%にとどまる

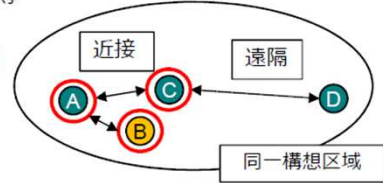
■厚労省は、全国の公立257病院、公的167病院の合計424病院に対し、“診療実績が少なく、非効率な医療を招いている”として「特に再編統合について議論が必要」と分析し、公表。



①診療実績のデータ分析
(領域等(例:がん、救急等)ごと)



②地理的条件の確認
類似の診療実績がある場合のうち、近接している場合を確認



①及び②により「代替可能性あり」とされた公立・公的医療機関等



③分析結果を踏まえた地域医療構想調整会議における検証

医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、

- 代替可能性のある機能の他の医療機関への統合
- 病院の再編統合

について具体的な協議・再度の合意を要請



出典：厚生労働省 第24回地域医療構想に関するWG 具体的対応方針に係る再検証の要請等、診療実績データ分析等の活用について 資料2より

第59期（2020年3月期）損益計算書

今後の施策

単位：百万円 切捨て	19.3 58期実績		20.3 59期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,658		37,920		1,261	103.4%
営業利益	4,382	12.0%	5,240	13.8%	857	119.6%
経常利益	4,503	12.3%	5,680	15.0%	1,176	126.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,043	16.5%	5,310	14.0%	△733	87.9%
E P S	198.31円		175.79円			

「働き方改革」と「医療安全」をテーマに事業を展開

■ 医療機関での「働き方改革」のソリューションと、「安全性の向上」ツールとしてプレミアムキットを展開

- [プレミアムキットの拡販](#)
- [純増（他社への攻勢と新規販売強化）](#)
- [プレミアムキット・プリスターキットの販売構成を50%に増加](#)
- [整形外科等の術式に対して安全性向上のP.R](#)

■ R-SUD事業へ向けて準備

- 準備が整った製品から順次許認可申請
- 製造プロセスの確立と許認可申請のための費用を投下

■ SuReFInd発売

■ II期工事設備投資の開始

- 需要拡大が見込まれるプレミアムキットの生産量増大のため
- 59期より64期にかけてキット受注量を鑑みながら段階的に取得
- 投資総額は約160億円を見込む（今期投資額は87億に修正）

■ 海外事業の拡大

- シンガポールでのプレミアムキット臨床試用開始
- ASEAN各国でのプレミアムキット・セクレアの販売に注力
- 医療機関におけるキーパーソンの把握・ミーティングを開催

■ P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善

- 省力化、自動化推進（人件費が今後も増加傾向）
- インドネシア国内の販売強化、キット部材の内製化

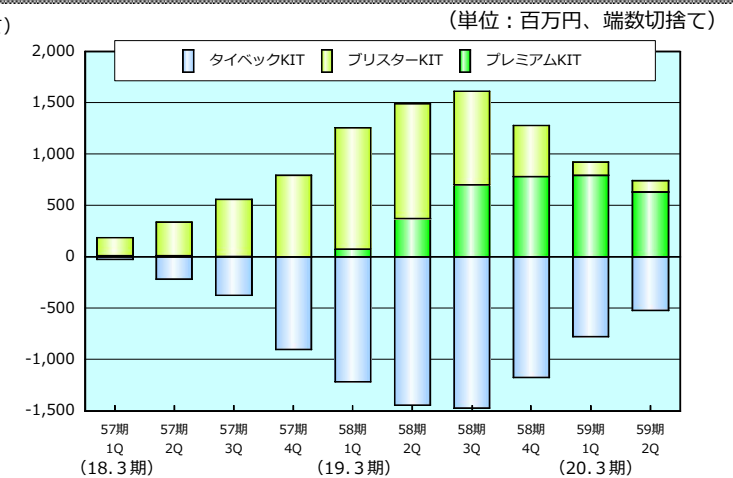
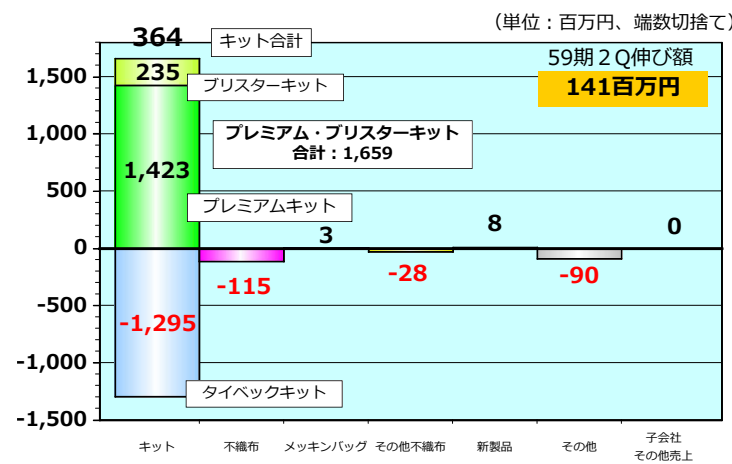


実績の詳細

第59期（2020年3月期）主な製品の売上高伸び額

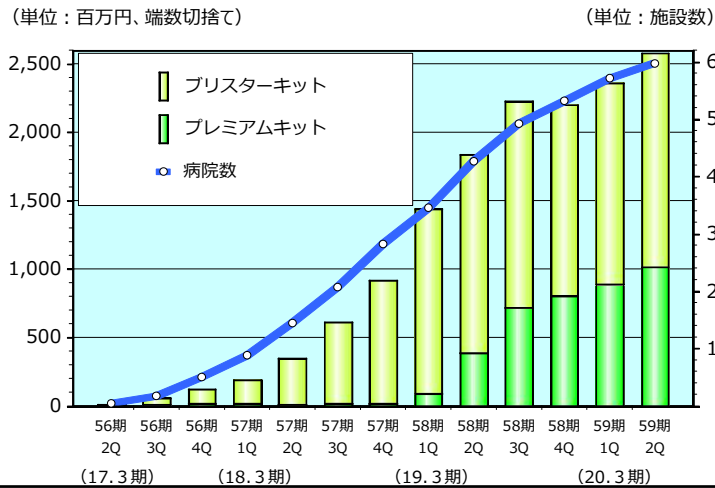
単位：百万円 切捨て	19.3 58期 2 Q 実績	20.3 59期 2 Q 実績	前年比	
			増減額	増減率
キ ャ ッ ト	10,801	11,165	364	103.4%
不 織 布	4,467	4,351	△115	97.4%
メ ッ キ ン バ ッ グ	1,267	1,271	3	100.3%
そ の 他 不 織 布	620	592	△28	95.4%
新 製 品	82	90	8	109.7%
そ の 他	958	867	△90	90.6%
子 会 社 そ の 他	40	41	0	101.8%
合 計	18,238	18,380	141	100.8%

キット売上高増減額推移

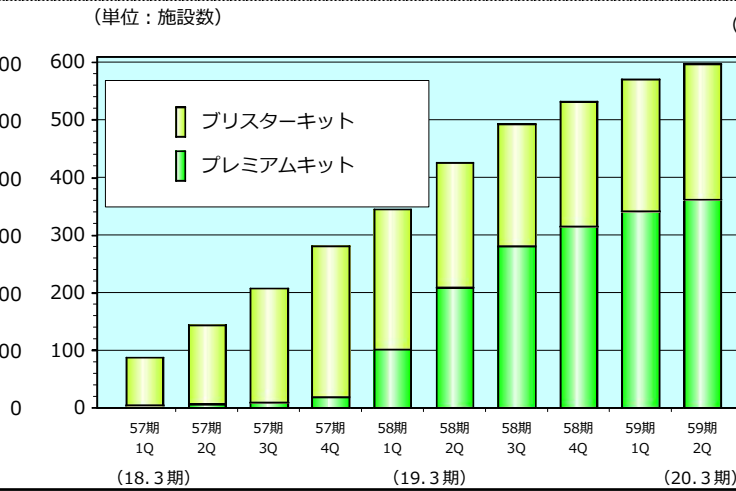


※HOGY Medical Asia Pacific Pte. Ltd.の売上実績は、59期に関しては子会社その他売上に含む。

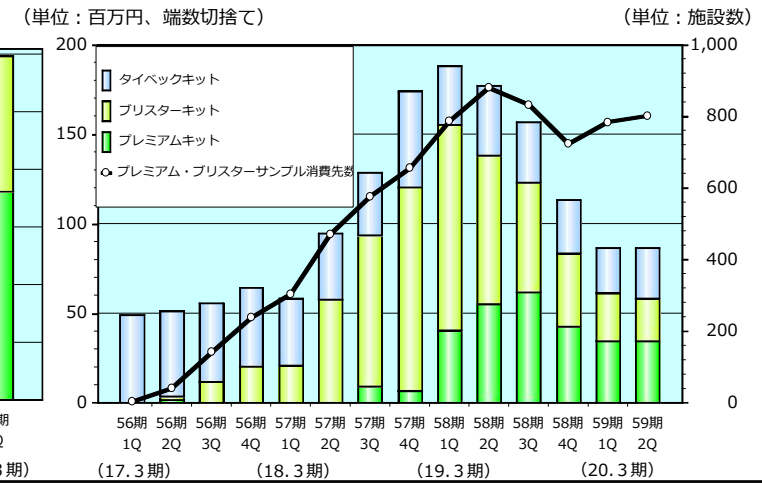
プレミアム・ブリスターキット販売状況



プレミアム・ブリスターキット別販売病院数



キットサンプル額の推移



オペラマスター進捗状況

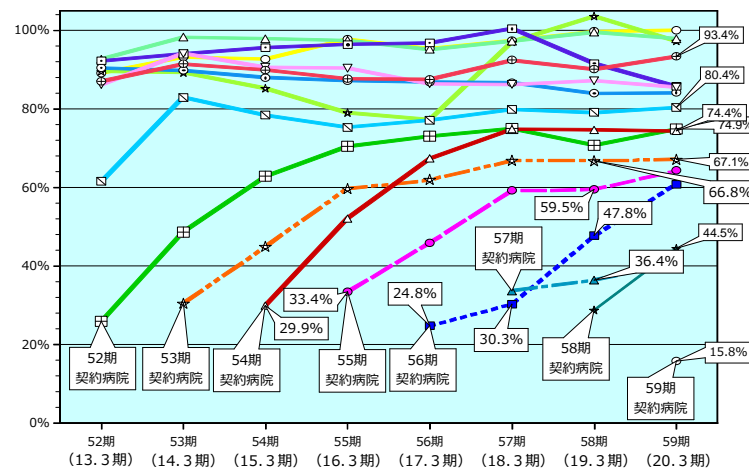
売上高：7,553百万円 (+251百万円：103.4%)

59期契約施設数：

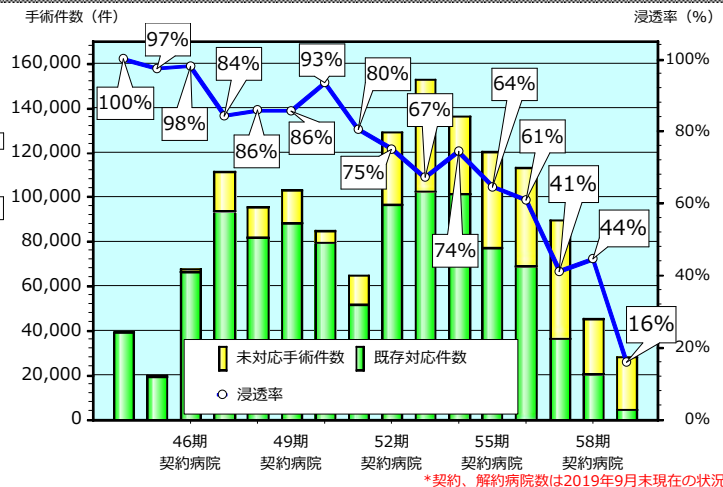
新規：5施設 解約：5施設

累計契約施設数：274施設

オペラ契約病院 浸透率推移



オペラマスター浸透率・手術件数 (契約期別)



*契約、解約病院数は2019年9月末現在の状況

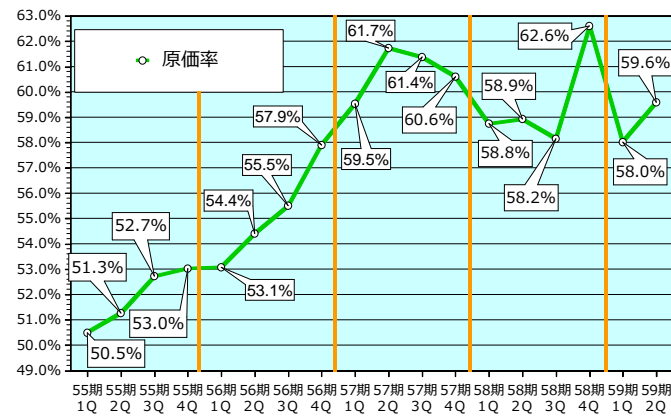
第59期（2020年3月期）第2四半期損益計算書

原価率推移

第59期（2020年3月期）第2四半期分析



単位：百万円 切捨て	19.3 58期2Q実績		20.3 59期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,238		18,380		141	100.8%
売上原価	10,733	58.8%	10,810	58.8%	76	100.7%
売上総利益	7,505	41.2%	7,570	41.2%	64	100.9%
販売費及び一般管理費	5,064	27.8%	4,973	27.1%	△90	98.2%
営業利益	2,440	13.4%	2,596	14.1%	155	106.4%
営業外損益	39		127		87	
経常利益	2,480	13.6%	2,724	14.8%	243	109.8%
特別損益	3,996		1,941		△2,055	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,534	24.9%	3,265	17.8%	△1,269	72.0%
E P S	147.41円		108.14円			



原価率：前年比 0.04%pt改善

- 償却費の減少

販売管理費：前年比 90百万円減

- 見本費の減少
- 58期R-SUD設備取得による減価償却費

設備投資：6,372百万円（前年比：5,542百万円増）

償却：2,586百万円（前年比：139百万円減）

- 原価：2,075百万円（前年比：179百万円減）
- 販管費：510百万円（前年比：39百万円増）

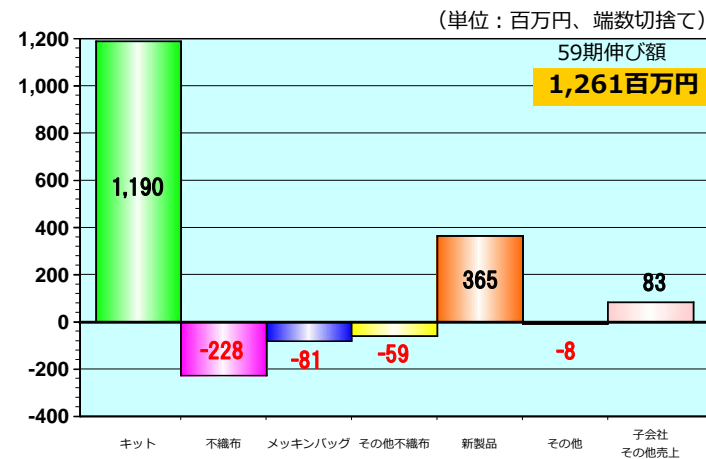
第59期（2020年3月期）計画の詳細

第59期（2020年3月期）主な製品の売上高増減額

第59期（2020年3月期）売上高計画



単位：百万円 切捨て	19.3 58期 実績	20.3 59期 計画	前年比	
			増減額	増減率
キ ッ ト	21,829	23,020	1,190	105.5%
不 織 布	8,888	8,660	△228	97.4%
メ ッ キ ン バ ッ グ	2,541	2,460	△81	96.8%
そ の 他 不 織 布	1,259	1,200	△59	95.3%
新 製 品	184	550	365	298.9%
そ の 他	1,868	1,860	△8	99.5%
子 会 社 そ の 他	86	170	83	195.6%
合 計	36,658	37,920	1,261	103.4%



「働き方改革」と「医療安全の提案」

1. プレミアムキットの拡販
2. 「働き方改革」・「医療安全」をキーワードとした

製品の販売強化、市場定着

- ・「働き方改革」へのソリューション提供、経営改善
- ・純増（他社への攻勢と新規販売強化）
- ・プレミアムキット・プリスターキットの販売構成を50%に増加
- ・競合他社との差別化、市場への定着、ノウハウの蓄積

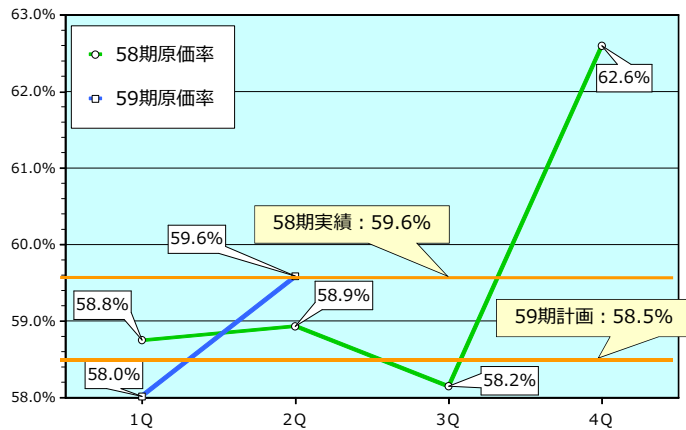
- R-SUD事業開始に向け、下期より提案の開始
- SCMに向けた戦略展開の市場確認

※HOGY Medical Asia Pacific Pte. Ltd.の売上実績は、59期に関しては子会社その他売上に含む。

第59期（2020年3月期）損益計算書

第59期（2020年3月期）利益計画

単位：百万円 切捨て	19.3 58期実績		20.3 59期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,658		37,920		1,261	103.4%
売上原価	21,831	59.6%	22,180	58.5%	348	101.6%
売上総利益	14,827	40.4%	15,740	41.5%	912	106.2%
販売費及び一般管理費	10,444	28.5%	10,500	27.7%	55	100.5%
営業利益	4,382	12.0%	5,240	13.8%	857	119.6%
営業外損益	121		440		318	
経常利益	4,503	12.3%	5,680	15.0%	1,176	126.1%
特別損益	3,995		1,990		△2,005	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,043	16.5%	5,310	14.0%	△733	87.9%
E P S	198.31円		175.79円			



- 原価率** : 前年比1.1%pt改善 償却費の減少
- 販売管理費** : 前年比55百万円増
試験研究費、許認可申請費用、人件費等の戦略費用に特化
- 設備投資** : 10,000百万円（前年比：6,635百万円増）
新工場投資額：8,700百万円を追加
- 償却** : 5,190百万円（前年比：441百万円減）
 - ・原価 : 4,220百万円（前年比：412百万円減）
 - ・販管費 : 970百万円（前年比：28百万円減）
- 配当** : 66円（前年比：+2円）